

農業大学校だより

vol.2

農大生に期待する

農業大学校総合農学科後援会長

沼田 幸夫

発行／長野県農業大学校・長野県農業大学校総合農学科後援会

長野市松代町大室3700

祝!! 徳竹さん 優良賞を受賞

新農大で初の栄誉

第8回全国農業大学校等プロジェクト発表会に参加して

二学年 作物コース 徳竹 裕美



二月二十三日、全国農業大学校等プロジェクト発表会に出場しました。私は「エゴマの栽培方法の検討について」という課題で発表しました。とても緊張して焦ったりもしましたが、私なりにうまく発表ができたと思います。補助者の丸山恵さんありがとうございます。今回全国大会に出場できたのは、応援し手伝ってくれた友達や先生方のおかげです。本当に本当にありがとうございます。良い思い出が生まれました。また他県の学生の発表を聴いてみてとても勉強になりました。楽しかったです。夜の交歓会では、農業について同じ年齢の人と語り合えて良い刺激になり、有意義な発表会となりました。一学年の皆さんも夢に向かってプロジェクトを頑張ってください。愛情を込めて作物を育て、家畜を飼育管理してください。

農業を取り巻く環境は、時代とともに二変しました。後継者の不在による農業従事者の高齢化、減少が進み、優良農地の荒廃が広がりをみせています。さらに食料の安定供給と言う名の下に多くの安い農産物が輸入され、国内農業を圧迫し、閉塞状態にさせています。

また一方では食に対する考え方も量から質へ、そしてより安全・安心な物へと変革が進んでいます。こうした状況の中、全国各地で様々な取組がされています。

化学肥料を極力控えたこだわりの有機野菜や農薬を一切使わない植物工場など、昔前では考えられなかった試みが現実のものとなりつつあります。

これらをさらに推進発展させる為にも、柔軟な発想で活力ある若い力が必要です。農業大学校とともに学び、互いに切磋琢磨することにより、夢のある新しい農業を創造できるのではないかと確信しております。



一・二学年全員卒業・一学年全員進級 見込みおめでとう!

平成十七年度総合農学科の学生は、年度途中での中途退学者を一人も出すことなく、二学年四十九人、一学年五十四人全員が無事卒業、進級できる見込みとなりました。三月十四日の卒業式において、専修学校化に

伴う新しい卒業証書が松尾校長から授与されます。

新卒業証書文面

☆☆本学農学部総合農学科所定の課程を修了したことを証し専門士(農業専門課程)と称することを認めます☆☆

先進農家体験実習レポート

一学年 山口真輝



諏訪普及センター提供

私を受け入れていただいた農家は、カーネーションを出荷している諏訪郡富士見町のお宅でした。最初は「知らないお宅で1ヶ月近くお世話になる」と思うと人見知りの激しい私は不安で仕方がありませんでした。しかし、私を受け入れていただいた農家には中国からも研修に来ていた2人の女性も居て、農家の方や中国の方と一緒に作業をしているうちに、いつの間にか打ち解けて、今ではとても楽しい思い出です。仕事をやりとげた時の達成感と充実感が得られました。その後も中国の方達と文通を通じて交流しています。

家畜人工授精師講習会を受講して

二学年 高橋雄一

九月二十日から約一ヶ月間、塩尻市にある県畜産試験場で、家畜人工授精士講習会を受講した。受講内容は前半の二週間が講義であり、特に最後の二日間にテストが十科目もあった。日々の勉強を怠っていたため、テスト前日はかなり勉強した。自業自得なのだが、かなり辛かった。後半の二週間は実習で精液注入などを行ったが、感覚が分からず難しかった。苦しかったけれど、無事合格できたし、いろんな人に出会えたので楽しい一ヶ月だった。卒業後は就農し、この技術を生かしていきたい。



4県農業大学校親善スポーツ大会—激闘を制し、3種目優勝の快挙!!

平成17年10月26日に4県体育大会(埼玉県・群馬県・新潟県・長野県)が行われ、軟式野球、バレーボール、バドミントン、卓球、バスケの5種目で争われ、本県農業大学校は1・2学年のチームワークの良さと練習成果を遺憾なく発揮し、卓球、バドミントン、バレーの3種目で優勝、野球、バスケは準優勝という輝かしい成績を収めることができました。今後も文武両道の確立をめざして、頑張ってもらいたいものです。

優勝した3種目に出場した選手達



卓球の部



バレーの部



バドミントンの部

農大祭を振り返って

二学年 黒岩正利



巨大壁画

農大祭風景

実行委員長として、振り返ってみると色々な人達に助けられた農大祭でした。各班の班長を先頭に班員全員が本場に頑張りました。また松代キャンパスの一学年が二泊三日で来て協力してくれ、無事に成功しました。今年の農大祭の目玉は二学年全員の巨大壁画写真を体育館に展示したことです。十一月十三日の農大祭当日は二十人の地域の方々が訪れ、農産物の購入や模擬店、各種展示、クイズなど楽しんで帰られました。この農大祭は、私の二年間の農大生活の中で、一番最高とも言える思い出となりました。

農大市を振り返って

一学年 荻原陽祐

私は文化部長になり、農大市の実行委員長として、運営を任せられました。最初は何も分からず困惑していました。準備が進んでいくうちに、小諸キャンパスで行われた農大祭の雰囲気になってきました。十一月二十日の農大市当日、お客さんが来るか不安でしたが、開始時間前には多くの人が列をなしてきて驚きました。九百八十九人のお客さんが来られ、売上金は前年比百二十割の百十万円でした。皆さんのご協力大変有り難うございました。



十七年度関東ブロック農業大学校等プロジェクト実績発表会

二学年 大川英明



岡澤健志君

丸山 恵さん

一月二十六・二十七日佐久勤労者福祉センターで、当番校である本校の二学年生が実行委員会を作り、運営をしました。関東ブロック十三校から約二百名の参加があり、養成課程二十八課題、研究課程十二課題の発表があり、優秀なものの五点を全国大会へ選出しました。本校からは作物コースの徳竹裕美さん、野菜コースの岡澤健志君、丸山恵さんの三名が発表し、徳竹さんが全国大会発表の栄冠を得ました。

発表会後の交流会

二学年 吉村亮平

右欄記載のプロジェクト発表会の後、小諸グランドキャッスルホテルで交流会を開催しました。交流会責任者としては、楽しく、かつ寛いだ雰囲気を進めたいと思い、班員で話し合い、各校の紹介、クイズ大会、バンド演奏を企画しました。

ホテルの料理の他にも、農大産ごしひかりのおにぎりやりんご、地元農業法人産のいちご、シュークリームなどを提供し、満足していただき、最後には参加者全員でパラダンスを踊り、盛り上がりは最高に達しました。



弁論大会の優秀賞

二学年 宮下博史



一月二十日、農学演習の一環として、自分の意見をまとめ、聴衆の前で発表する能力を身につけるため、二学年合同の弁論大会が開催され、私が優秀賞を得ました。「農業大学校に入学して」というテーマで発表しました。一学年の頃は、教室で机に向かい教科書を開き基礎知識の習得を中心に過ごし、二学年ではプロジェクト学習等実践的な技術を実習を通して学びました。様々な作物を二から育て出荷までできたことに充足感を感じています。卒業後は専門技術科に進学し、さらに専門知識を学ぶ予定です。

基礎知識の習得を中心に過ごし、二学年ではプロジェクト学習等実践的な技術を実習を通して学びました。様々な作物を二から育て出荷までできたことに充足感を感じています。卒業後は専門技術科に進学し、さらに専門知識を学ぶ予定です。

「明日の長野県農業を担う若人のつどい」意見発表参加

二学年 塚原みちる

二月三日、長野市若里市民文化ホールで大勢の青年農業者の前で、農業大学の代表として自分の意見を発表しました。とても良い経験になりました。

高校時代から、健康で長生きをするには、食生活をきちんとする必要があると考えており、テーマは「あなたは長生きしたいですか」というものでした。他の若い農業従事者の意見を聞いて、将来みんなはどんな農業をするのかなと考えるとワクワク、ドキドキです。

明日の長野県農業を担つ石ハ



冬季スポーツ教室

二学年 藤澤重季



二月八・九日、妙高杉ノ原スキー場へ体育実習で行きました。一日目の午前はスキー、スノーボードに分かれ、上級・中級・初級の各レベルのスクールに入りました。午後から二日目はそれぞれグループに分かれ自由滑走を楽しみました。

宿泊先は「ハイランドロッジタケゲン」で、食事がとっても美味しかったです。二日間とも大雪で大変でしたが、帰る頃には晴れて来て景色が大変綺麗で、良い思い出となりました。

就職指導講座 (特別教養演習)

本校では、卒業後即就職する者が十程度で、将来就職するにしても当面は、農業関連企業等へ就職したいという者が多いのが実情です。それに対応するため一学年の後期から、二学年前期にかけて就職指導に力を入れています。求人倍率の回復基調という好条件はありますが、今年も二月二十日にジヨブカフェ信州から専門家を招き、就職ガイダンスや会社訪問のマナー等講義をしていただきました。



上伊那郡箕輪町

柴 吉洋

作物コース 平成十七年三月卒業



農大を卒業し、就農して早くも一年が経ちました。私の家は、水稲と果樹の複合経営を行っています。就農し、実際の現場に入ってみると、それまで学校で勉強してきたようにうまくいく事は少なく、苦労することが多々ありました。水稲の直播栽培では、学校の研究では体験しなかつた鳥害で大変な思いをしました。

他にも今年は、初めて体験することが多く、戸惑うこともありましたが、農大での学習で得た知識が役立ち、また物事を広い視野で捉え、考えることが出来ました。農大の友達とは、時間を空けては長野市まで行って話をしていますが、お互いあまり時間がとれず、今になって友達の大切さを身にしみて感じるようになりました。今後は自分の目標に向け、考えていることを行動に移して実現できるように日々努力していきたいと思っています。

中野市 山田 達也

畜産コース 平成十七年三月卒業



私は今、JA中野市で働いています。JA中野市では、キノコをはじめブドウやリンゴなどの果樹、アスパラなどの野菜の生産、販売が盛んな特徴のある農協です。そこで私は果樹のブドウ担当ということで毎日勉強させてもらっています。業務内容としては技術指導をはじめとする各種講習会の実施や園地を巡回して個別に指導や相談を受けたり、こちらの指導を聞いてもらっ

たりと生産者に近い立場での仕事が多岐にわたります。農大時代に畜産を専攻していたので、果樹の担当と分かった時は上手に出来るか不安でしたが、分からない時や困った時は先輩方が教えてくれたり、生産者の方が教えてくれたりと「初めは分からなくていいんだ」と励まされました。周囲の助けもあり、果樹について全くの素人だった私でも一年が経過しようとしています。農業にとっても厳しい時代が続く中で、更なる発展をしていけるよう、これからも努力していきたいと思っています。

2学年生の就職内定等進路決定状況 (2月20日現在) 49人中未決定者3人のみ

- 就職31人— 農協6:佐久浅間、信州うえだ、上伊那、木曾、ながの、入善町(富山県)・農業関連企業20:ミヤマプロイラー(株)、(株)大地2、(株)信濃培養土、(株)竹内農産、(有)食糧倉庫808、丸大食品工業(株)、(株)ナカツタヤ、(株)信州シキシマ、信州ミルクランド(株)、ハマ園芸(株)2、ニッポン緑産(株)、(有)木下商店、(有)エアロサービス、(株)長野中央園芸市場、(株)長野クボタ、(株)マメトラ農機、平林産業(株)、(株)ヌポー生花店・その他企業5:(株)健康家族、直富商事(株)、他3
- 進学7人— 信州大学農学部1、専門技術科3、果樹研究科、海外派遣農業研修(ドイツ)、佐久技術専門学校
- 就農8人— 自家4、農業法人4:(株)長野セルトップ、(有)本多園芸、(株)ミスズライフ、(有)バイオラスト軽井沢牧場

18年度長野県農業大学校「総合農学科」学生2次募集中!!

■人員:若干人 ■対象:高校卒等 ■修学年限:2年

■専攻

作物・畜産・野菜・果樹・花き・農村生活の中から入学後の授業や実習等を通じて専攻コースを決定していただきます。

■資格・特典

- 在学中に次の資格・免許の取得のための学習等を行います。
毒劇物取扱者、大型特殊免許(農耕車に限る)、車両系建設機械運転技能、フォークリフト運転技能、小型移動式クレーン運転技能、玉掛け技能、産業用無人ヘリオペレーター技能、家畜人工授精師他
- 卒業者は、人事院規則等に基づき、短大卒業と同等に扱われ、また専門士の称号が付与されます。

■第2次一般入試

願書受付 平成18年2月21日(火)~3月9日(木)
入学試験日 平成18年3月16日(木)

■問い合わせ先

長野県農業大学校事務局 TEL.026-278-5211(代)

